



粒々辛苦で

「ふるさとながと・こんにちわ」

今年の4月から長門を離れ、看護婦として病院で勤務しています。比較的近い所に住んでいるので、3交替の休みには、大好きな長門によく帰っています。ほんの数ヶ月ですが、一度外に出てみると、地元の良さを改めて実感します。きれいな海に、温かい人。私にとって長門は、心が優しくなれる場所です。豊かな自然を残し、良い意味で変わらない長門をこれからも応援しています。

私は今、新人看護婦として、病棟業務に就いています。最近では夜勤にも入るようになり、想像以上に看護婦業務のハードさを痛感しています。体力的にも精神的にもきつい夜勤ですが、夜、静まりかえった病棟内で、患者さんが日頃言えない悩みや、相談を持ちかけて来られ、私なりに考え対応出来た時などは、とても、やり甲斐を感じます。まだ未熟な私でも、この患者さんの今に役に立てたかもしれないと明るい気持ちになります。看護婦としても、一社会人としても、これからの私のスタートです。常に向上心を持ち、して人にも優しく、粒々辛苦で頑張っていきたいと思っています。



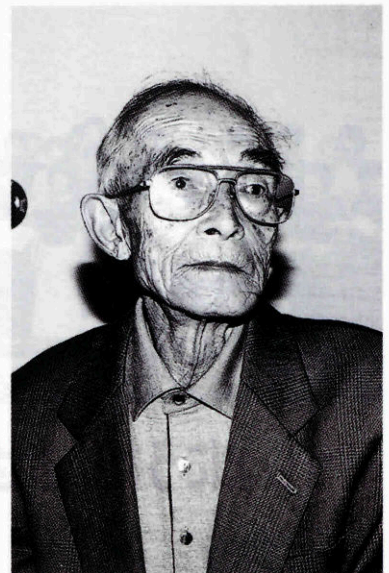
▲小さい頃の思い出

田中千絵 さん

たなかちえ／昭和51年生／吉敷郡小郡町在住／田屋区出身／林病院勤務

誠実がモットーです

「達者です」



田中正治 さん

たなかせいじ／86歳／洲崎町区

「仙崎生まれで仙崎育ち、家族は妻と2人です。家業の水産加工業は19歳で後を継ぎましたが、4年前に商売は辞めています。昔は、夏にはスルメ、金太郎・鯛のみりん、冬には大羽鯛の割りほしなど。戦後、塩鯖の加工、いりこの煮干しなど賑わっていました。最近では、魚の減少で、加工業者も半分減ってしまいました。」と田中さん。現在でも区長会、社協、水産物仲買組合役員など長年引き受けておられ、毎日が多忙で、暇なときは、家の周りの草取りが日課とか。「趣味は、テレビで歌番組を見ること、それに旅行でしょうか。好きな物は、酒が飲めないで、甘い物なら何でも

特に饅頭、ようかんが好きです。健康については、無理をしないこと。色々な会合には自転車、長門まででも出かけます。適度の運動や、会合で話す機会が多いので呆け防止にもなっているのでは。」と言われ、最後に好きな言葉の質問に「誠実でしょう。町内でも高齢者世帯が多く、役員交代が難しくなっています。が、出来る限り世話をしたい。」と語っておられました。



▲傘寿のお祝いに子と孫と一緒に